

かみふらの



新春

2016 NO.680

こうほう



新春
特集

かみふらのの移住物語

主な内容

新春を祝って

パブリックコメント

上野野町

まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)

第2回住民参画の町政懇談会

こんな笑顔がたくさん1年でありますように！

～わかば愛育園 もちつき会にて～

広報担当撮影



新春を祝して



上富良野町長

向山 富夫

新年明けましておめでとうございます。

皆様には二〇一六年の新春を、ご家族お揃いにてお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

秀峰十勝岳に抱かれた、私たちの愛する郷土「上富良野の大地」は、開基一九九年の幕開けを北の大文字の荘厳なかがり火の中で迎えることができました。

町民の皆様には、日ごろよりまちづくりに対して暖かいご支援、ご協力を賜っておりますことに、心から感謝とお礼を申し上げる次第であります。

戦後七十年が過ぎ、この間社会は想像を超える速さで変ぼうを遂げ、科学技術の発展とともに社会の価値観や地球環境も大きく変わり、とりわけ少子高齢化の進展が大きな社会問題として浮上しています。

今こそ一度立ち止まり、これまで私たちが歩んで来た足どりをしっかり見つめ直し、これからの国づくり、地域づ



くりを共に考えてみてはと感じているところでもあります。

さて、昨年を振り返りますと、全国的には相変わらず集中豪雨などの自然災害が多発しましたが、当町では大きな災害に見舞われることなく、農業においては多くの作物で大きな実りを得た豊穡の年となりました。

一方、商工業ではデフレからの脱却をめざす国の経済対策も地方へは及ばず、地方の消費低迷は深刻さを増している状況です。わが町においても、いまだに賑わいや活力を感じるのは至っていない状況であることから現在、一日も早い経済活性化のための諸対応について、各関係機関・団体と情報共有を図っているところであります。

観光においては幸い、海外客を中心に回復の兆しが見られており、これを契機に観光分野のみならず、広く商工分野へも及ぶことを期待しております。

まちづくりの大きな柱、自衛隊上富良野駐屯地に関しましては次年度以降、部隊の改編計画が示されていることから、体制維持に向けた取り組みをさらに強く推し進めていく必要性を再認識しているところであります。

社会福祉や生活環境の充実、教育環境の整備など多くの行政課題が山積する状況は当町においても例外ではありませんが、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の目標達成をめざし、進行する人口減少や高齢化に対応すべく「協働のまちづくり」をさらに推進し、安心できる、活気に満ちた郷土を築くため、全力投球で臨んでいく決意であります。

結びに、町民の皆様にはこれからも温かいご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、今年も穏やかで幸多い一年となりますことを心からご祈念申し上げます。年頭のごあいさつと致します。

新春
特集

かみふらの移住物語

故郷や住み慣れた街を離れ、かみふらのに移り住むことを決めた人たち。そこにはそれぞれの想いがありました。そして、その想いは今、親から子へと受け継がれようとしています。今月は新春特集として、2組の親子の物語をお伝えします。

自分らしさを求めて

松本真弓さん

まつもと・まゆみ 1959年、大阪府大阪市生まれ。

2002年に家族4人で町内へ移住。里仁地区、西11線北34号、ジェットコースターの路沿いで、長男の祐季(ゆうき)さん、長女の実桜(みお)さん(写真左)さんと雑貨店兼カフェ「花七曜」(はなしちよう)を営む。

「どんな人? う〜ん、まあ、楽しそうに生きてるなあと…(笑)。いつも夢があつて、あれやりたい、これやりたいって始まる。でも、楽しそうだから一緒にやりたいなと思っただんです」
母についてこう話す実桜さん。移住当時は小学生だった少女も、今では経営者真弓さんの良きパートナーです。
一家が北海道に来たのは富良野にスキーに訪れた1回のみ。「何とか食べたいけるかなぐらいの気持ち」で、夫の訓明さん(のりあき)とともに会社を辞め、インターネットで知り合った上富良野在住の方に誘われ移住を決意しました。
「一年も年だし、何かをするには今しかないのかな、チャンスとしたらこれしかないのかなっていう感じでした。このまま年をとって、定年まで勤めて、家のローンを支えと払って、ローン終わったねって子供の手も離れて、じゃあそれから何するんだろって…」
田んぼに囲まれた奈良のおばあちゃんの家が大好きでよく遊びに行き、幼いころから田舎暮らしに憧れを抱いていた真弓さん。暮らす大阪には何でもある。しかし、都会特有の閉そく感が憧れを一層強くさせたといいます。



花と緑に囲まれた店舗(写真上)
雑貨が所狭しと並び店内(写真中・下)



「主人には『田舎に住みたい』『広いところでお店をやりたい』と言い続けてました。で、40歳を過ぎて同じことを横でささやいていた時『ふっ』と心が動いたんでしょうね。OKが出た。洗脳されたんじゃないんですか(笑)」

「請け負いでフリーの仕事をしていたものの親会社が倒産し『生活のため仕方なく、普通の会社員』に。その傍ら趣味で作っていたリースなどをフリーマーケットなどで売るうちに、お店を持ちたいとの気持ちが芽生えました。」

「やるのは雑貨とドライフラワーのお店と決めていましたが、来たときは主人の勤め先も決まってあらず、自分でも大変なことをしたとは思っていません。周りにはだいたいあきられてい

ましたが、親しい友人からは『まあ、あんたなら行くか』とも言われましてね(笑)。でも、お勤めするのがすごく苦痛だったんです。毎日会社に行くことが向いてないというか(笑)」

商品の製作、ホームページの作成・管理、店舗・通信販売すべてを一人でこなしていましたが、現在は従業員を雇い、商品やオープンガーデンなどのデザインに専念。3年前からは実桜さんもスタッフとして加わりました。

「娘から聞いたときには『え、やるの？ほんとに？私のんびりできないやん』って。カフェは自分がやりたいときにやっていたので不定休でした。今は娘がやると思うので、ちゃんとやっていますよ。そうせざるを得ない

くなっちゃった(笑)。でも『一緒にやりたい』と言われた時はうれしかったですね。普通に就職してほしいなとは思いましたが、自分が好きなことをしてるのに『子どもに就職しろ』とはさすがに言えませんでした(笑)」

仲のいい姉妹のような二人ですが、実は実桜さんが一枚上手(?)の様子。『娘からは『ふらふらしてる』と。『それを言う前にまずこれしよつよ』って言われることが結構あって、パートさんから『いつも実桜ちゃんに怒られてますね』って言われます(笑)。おかしいと思えばとこん言い合いもします

が、仲はいいんだと思いますね』『あれしいないな』『これ、いいかもしれない!』と思うたらもう、すぐに

そっちに行っちゃいそつになるので『おいおい、戻っておいで』『みたいな感じですね』(実桜さん)

大学では農業経営を専攻し、就職活動はしたものの、実家に戻る道を選んだ実桜さん。

「一人で楽しそうなことをやってないで私も混ぜてよ』って感じでした。これからは農家さんと何かできないかな

と考えています。ネットで商品を買って本州から来てくれる方もいらつしやるので、一緒に何かをして、うちが売れるものでかみふにきてみたいと思ってくれるような商売ができればなつて。今はまだ全然ですけど…」(実桜さん)

お店のホームページには会社を辞め、家売り、安定と引き換えに自分らしさを選んだときの真己さんの心情がこつこつと書かれています。『失うものの少なさを思つて、また愕然とした』

「お店をこの場所に移して10年。もうどこかに行きたいという気持ちはないですね。ここが好きです。かみふに来てよかったのは、地域の方を含めたくさんのお会いがあったこと。そして、この仕事が好き!今は失うもの、失いたくないものがいっぱいあるので、もうがむしやにやらないとつていう

気持ちです。でも、新たにやりたいことは、まだまだありますよ! (笑)」

お店の名前「花七曜」には、こんな思いが込められているといいます。

「七曜は月曜日から日曜日までの一週間。だから花が毎日。その一週間がながっていくので『ずっとお花』。花が好きなんです。ひいては『好きなものがずっと一緒』の意味です」

夢だった田舎暮らし、やりたかった仕事、支えてくれる家族、そして地域の人たちとのつながり。好きと語る花と同様、大好きで、大切なものと過ごす日々はこれからも続きます。

冬期間は花七曜さんの店舗はお休みのため、インターネットでの購入のみとなります。

ホームページURL: <http://www.sichiyo.com/> ☎ FAX 452292

『ちにた』はアイヌ語で『夢』。農場名にアイヌの言葉で何かないかなと、アイヌ語辞典を買ってきて。アイヌは自然志向で争いをしない、平和主義の民族だから、いい生き方だなと感じて『夢』を引いたら『チニタ』ってあったんです。平仮名にしたのは柔らかい感じにするため。夢を抱いてかみふらのに来たからな」

長崎では13年間、高校の教員を勤めました。6年ほどだったころ教師という仕事に違和感を感じ始めました。「子どもたちは好きなんです。その子どもたちを評価するでしょ。人間を評価するのは嫌だし、学校っていう独特の社会にもなじめなかったですね。私は教員に向いてないんですよ」その違和感は日本の社会にも。

「世の中、理不尽なことばかり。そういう社会に『何なんだ』って思い始めて…。だから、本当は海外に行きたかったんですけど、行く能力も、お金もなかった笑。で、日本で日本らしくないところは北海道か沖縄だと。漠然としたが」

暑いのは嫌い、沖縄には台風が来る。キャンプや山登りを楽しんでいたこともあり、「安全で自然の宝庫」との理由で北海道に移住の地に。

「北海道の人はやっぱり九州とか沖縄がいいと思うでしょ。それと同じで、北海道に来たことはありませんでした。本などで情報はあったし、いいイメージでした」

実家がお茶農家のため、子どものころから農作業を手伝っていたという和正さんに、気持ちの変化が起きます。

「若いころは『何で親父はこんな効率の悪い仕事やってるんだろ』と思ってました。でも、自分が社会人になって違う仕事をやり出したら『何て豊かなことをやってたんだろ』と。そういうことを考えだしたら『ああ、

サラリーマンって嫌だな』って…」

移住の前年に休暇を取り、住みたいと思う旭川近郊から十勝にかけての役場や農協を旅行がてら訪ね歩き、行きたいのがここ、かみふらの。

「かみふでは役場も農協も好意的だったんですよ。そのころは、命さえ取られなければいいくらいな軽い感じでした。でも最近、よく家族で『今考えると大変なことをやったんだなあ』っていう話になるの。もし失敗してたらどうなっていたんだろうって」

郊外に自分で建てた長崎のログハウスから、離農跡の古い家に移り住んだ一家。覚悟はしていたものの、ギャップにはため息が漏れたといいます。

「家にはさすがに『はあ』ってなりませんでした。だから、すぐ建てなくちゃと思ってはいたんですが、夏は忙しくてできないから、冬の作業になるでしょ。天気のいい日を選んで作業するので、1年に1段か2段しか積み上げられない。カミさんや子どもたちに手伝ってもらいながら、このログハウスを建てるのに8年かかりましたよ」

就農3年目から農業を使わないようになり、自身が育てる野菜はすべて無農薬の有機栽培。お米は除草剤のみで、殺虫剤は使っていません。

「気持ち的に農薬アレルギーみたいになって、使つのが嫌になっちゃった。雑草を取るのって手間ですよ。除草剤をまけばそんな作業はなくていいんで

自分にとっての豊かさを求めて

田中和正さん

たなか・かずまさ 1954年、長崎県東彼杵(ひがしそのぎ)町生まれ。1992年に家族5人で町内に移住。東中地区、東12線北20号で有機栽培を手掛ける「ちにた・ふあ〜む」、ファームイン「キャラバンハウス ちにた」を長男の正太郎(しょうたろう)さん(写真右)とともに営む。



新春特集

かみふらの移住物語



移住した1992年、富良野市麓郷にて

すから。最初は当然、失敗もありました。でも、がむしやらにやれてたんです。必死っていうより、もうやるしかないだろうって、カミさんと二人で」
現在は犬と猫、鶏ですが、過去には馬に乗りたくてポニー、毛を紡いでみたくて羊、ほかにヤギなども飼っていたことも。また、ニュージールランドに行った際に泊まった安いバックパッカー向けの宿を「いいな」と感じて、自宅の敷地内にかまどや五右衛門風呂を据え付けた自炊の宿「キャラバンハウス」を建てたり、外国人旅行者に宿泊場所と食材を無償で提供し、手

間のかかる有機農業を手伝ってもらった「WOOOF(ウーフ)」のホスト(受入先)にもなっています。

「宿には家族は反対でした。『また変なことやる』って(笑)。ウーフも、もろ手を挙げての賛成ではなかったです。私のやることには全部、ストップをかけるんです。でも、最終的にはみんな協力してくれるから今があるんですけどね。人生は1回。すべてが楽しいわけではないけど、私は楽しみたいとダメだっという考え方なんです」

移住当時は中学1年生。高校卒業後は就農してともに汗を流してきた正太郎さんは、父についてこう話します。

「途中であきらめて下山するのも、頂上まで登るのも登山ですが、あきらめて後悔するのは自分。それで納得できるなら下りてもいいけれども、自分は登り出したら最後まで極めるんだというところを、登山を通じて子どもたちから見せられていました。親父がここに来たのが37歳。自分は今年36歳で、同じように子どももいますが、同じことをできるかと言われる自分にはできない。来たことは肯定も否定もしませんが(笑)、決断力はすごいなと思うし、断言して動き出すと全うして形にするというところは尊敬しています」
ビールハウスで行う看板商品のほつれん草栽培は、ほぼ正太郎さんが担当。改良を重ね、収穫量も始めた当初の2倍以上に。和正さんも「親が言う



農作業の休憩時間。外国人との会話も楽しみの一つ

のもなんですが、完璧です」と目を細めるほど信頼を寄せており、来年度からは経営を任せるといいます。
「これから農業を続けていくことにプレッシャーや怖さは当然ありますが、こたわってやってきた無農薬、有機栽培という基本的な形は守りつつ、社会や時代の変化を見ながら、改善すべきところは工夫してやっていかなきゃと思っています。技術的にも昔とは違って、一筋縄でいかない部分も多くなっていますし。でも、農業は楽しい。手を掛ければ掛けるだけ、自分に返ってきますから」(正太郎さん)

す。お金がある、自由な時間がある、豊かさの価値観は人それぞれ。ある程度のお金は必要ですが、こういう自然環境で生きる時間と、人との出会いというのかな、そういうものに豊かさを感じるんです。ここまでやってこれたのは、周囲の助けがあったから。たくさんさんの支えがあって、私たちの今がある。今の生活に不満はないです。最低限生活ができて、家族が健康でいられれば、それしかないなあ、今は」
和正さんが手にした、この北の大地でしか得られない自分にとっての「豊かさ」は、しっかりと次の世代へと受け継がれていきます。



商品のパッケージにも使っている、長女の由紀さんが小学生の時に描いたキャラクター



囲炉裏もあるキャラバンハウス(写真上) ふじスーパーで販売中の商品(写真下)

ちにた・ふあ～むさんの商品は、ふじスーパーの軽トラ市コーナーのほかにインターネットで購入できます。

ホームページURL: <http://www.chinita1992.com/> ☎ 6562

問合せ

町民生活課自治推進班

☎ 69985

パブリックコメント

皆様のご意見をお寄せください

上富良野町

まち・ひと・しごと創生 総合戦略(案)

■人口ビジョン(案)

国立社会保障・人口問題研究所の将来人口の推計を基に将来展望人口を設定。少子化対策による合計特殊出生率の増加、人口減少抑制策の取り組みなどにより減少率を緩やかにし人口確保をめざします。

将来展望

長期的目標：平成52年(2040年)に1万人程度を確保
合計特殊出生率をH32年→1.70人、H37年→1.80人、H42年→1.95人、H47年→2.07人と段階的に設定。純移動の減少率について同研究所準拠の約2割程度まで圧縮すると仮定。



国が「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、人口減少抑制と地方創生に一体的に取り組む「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を定めたのを受け、市町村は地域特性に応じた総合戦略の策定が求められています。

町においても昭和35年をピークに人口減少が続いていることから、平成27～31年度の目標と施策の方向性を示す「上富良野町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定を進めているところです。

■総合戦略(案)

人口ビジョンで設定した将来展望人口に向け基本目標を定め、今後5年間で取り組む施策をまとめたもの。目標数値や成果を指標化し「上富良野町まち・ひと・しごと創生会議」の検証により効果的な実施につなげます。

将来像	基本目標 (成果目標 2019年)	主な重要業績指標(KPI) (抜粋)	主な施策 (抜粋)
『安全・安心』『活力と賑わい』『健康長寿・生涯現役』	安定した雇用を確保・創出する 就業者率 87.4%	- 立地企業に対する支援件数 3件 - 新規開業等に対する支援件数 2件 - 人材育成アカデミーの開催回数 3回 - 新規就農者数 3人 - 中核的担い手農業者数率 66%	- 本気・やる気が実を結ぶ産業づくり - 担い手が輝き、地域の強みを生かす産業づくり - 足腰の強い農業を目指した新たな担い手育成と地域農業を支える体制づくり
	新しいひとの流れをつくる 交流人口 90万人 (観光入込客数)	- 日帰り観光客数 82万人 - 宿泊観光客数 8万人 - 外国人宿泊人数 8,000人 - 移住相談件数 100件 - 各種イベント参加者数 450人	- 地域の魅力を満喫する産業環境づくり - 豊かで自然を実感できるまちづくり活動 - まちの魅力が集積された賑わいの拠点づくり
	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる 合計特殊出生率 1.70人	- 妊婦一般健診の受診率 100% - 子育てネットワークの拡充 90人 - 教育保育利用待機児童 0人 - 子育て支援センター年間延べ利用人数 1万人 - 放課後事業希望者登録率 100%	- 結婚・妊娠・出産・子育て支援と教育の充実 - 子どもの成長を中心に、家族のライフスタイルの中で子育てを支える体制づくり
	時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する 健康寿命1歳以上延伸	- 予約型乗合タクシー利用延べ人数 1万5千人 - 特定健診受診率 70% - かみふっ子健診・若年者健診受診率 60% - 自治会加入世帯率 92% - 防災用備蓄品充足率 100%	- 安全・安心な日常生活を支える生活基盤、親しみやすい身近な空間づくり - 生涯に潤いをもたらす学習環境づくり - 地域間交流・地域間連携によるまちづくり

※重要業績指標：事業ごとの進捗状況を検証するために設定する指標

計画(案)に対する、皆さんの意見をお寄せください。

募集期間

12月25日(金)～1月24日(日)

閲覧方法

ここに掲載しているのは人口ビジョン・総合戦略案の要旨です。計画案の全体をご覧になる場合は、町内9カ所に設置してある町民ポストに備え付けの冊子か、町のホームページにより閲覧してください。

町民ポスト設置場所

役場、保健福祉総合センターかみん、社会教育総合センター、公民館、町立病院、上富良野郵便局、JR上富良野駅、コミュニティプラザ中茶屋、JAふらの上富良野支所のホームページ
<http://www.town.kamifurano.hokkaido.jp/>

提出方法(様式は自由です)

持参、郵送、ファクス、電子メール、町民ポスト(右の9カ所)

※提出する意見には住所、氏名(団体名)、電話番号を記載してください。

記載のない場合は無効になります

結果の公表

2月下旬

問合せ

☎071-0596

上富良野町大町2丁目2番11号

総務課企画財政班

☎06980 FAX05362

kkakuzai@town.kamifurano.lg.jp



第2回 住民会長との 町政懇談会

今年度2回目の「住民会長との町政懇談会」が11月20日に開かれました。会議の冒頭、向山富夫町長は「現在、新年度に向け予算編成を進めている。皆様の期待に沿えるよう取り組みたい」とあいさつ。

議事では「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の概要説明をはじめ、農政部ブロードバンド環境の活用として、町内4カ所に設置されたライブカメラ映像のインターネット視聴と13カ所での無料Wi-Fiサービスの提供のほか、町道の除排雪についての協力

願い、マイナンバー制度の個人番号カードの申請、来年度の住民自治活動推進交付金などについて、各所管課長から説明がありました。

引き続き行われた質疑応答では、議事に対してのほか、敬老会の在り方などについても各住民会長から質問や意見が寄せられ、安心して住み続けられるまちづくりに向け、熱心な議論が交わされました。

問合せ 町民生活課自治推進班

☎6985



主な質問 と回答

質問 総合戦略の策

定に当たり、町の事業にかかわりのある町民を一カ所に集めて意見を聞く機会があるとい

回答 多くの方と意見交換する機会を

持つため、素案を作成した段階で各団体との意見交換のほか、町民の皆さんにお集まりいただいて、まちづくりトークを開催した。寄せられた意見は策定委員会でもとめ、皆さんにあらためて素案を見ていただくため、パブリックコメントを実施する。総合戦略については毎年進行状況を管理し、必要に応じて追加・修正することも考えている

質問

マイナンバー制度の個人番号カードの申請には証明写真が必要だが、高齢だと自分で写真を撮ることが難しく、店に頼むのも費用がかか

回答

個人番号カードの申請手続きについては支援しているが、写真撮影は予定していない。親族に頼むなどして、対応していただきたい

質問

個人番号カードの作成は任意との説明だったが、申請するかどうかは個人の自由という考えでよい



マイナちゃん

回答

個人番号カードは必要ないとのことであれば申請は不要だが、送付された、個人番号が記載されている通知カードは必ず保管していただきたい。今後、個人番号カードのサービスが整い次第周知していく

質問

敬老会は各地でさまざまな形で開催しているが、住民会の予算は少なく、支援する人も高齢化してきている。年数回ふれあいサロンを開催しており、住民会で集まる機会があるので、敬老会は町が全住民会を対象に開催した方がよいのでは

回答

町主催の敬老会は移動が困難であったり、開催時期が農繁期で参加できないという方も多く、各地域での開催が望ましいとの意見から、現

◆質問

先日、防災士のスキルアップ講座に参加したところ、防災マスターの育成も実施しているとのこと。防災士のスキルアップのため、防災マスターなどの研修を町で行っていた

◆回答

さまざまな資格が取得できるよう後押ししたい

※会議録は、役場庁舎1階の「町政情報提供コーナー」でご覧になれます

催します

「健康づくり推進のまち」宣言 2周年記念事業

健康で心豊かに、いきいきと暮らすことを願う「健康づくり推進のまち」宣言をしてから2年。今年も2月10日の記念日にイベントを行います。テーマは「食」。参加は無料です。

申込み・問合せ 保健福祉課健康推進班 ☎6987

干し野菜教室

12～13時30分

町で進める「1日野菜350g」。しかし、価格が上がる冬には野菜を食べる量が減ってしまいがち。そこで、野菜を保存して冬に食べる方法として「干し野菜」の推奨を考えています。野菜の上手な干し方、簡単な調理法を学びませんか？ なお、参加には事前申込みが必要です。

【講師】 野菜ソムリエ

長谷部直美さん

「簡単じゃなきゃ始められない。楽しくなきゃ続かない」をモットーに「びくるす先生」「干し野菜の達人」としてテレビや雑誌、イベント、セミナーなどを通して、すぐに始められる「野菜の簡単保存食」を普及中！



干し野菜料理の

試食・レシピ配布

14時～

きららの会（食生活改善推進員）が野菜を干すことから取り組み、考案する干し野菜料理。ぜひご賞味ください。

記念講演

健康寿命を延ばす食事とは～「健康に「生きるしくみ」と食べるしくみ」～

15～16時30分

健康寿命と食の関係を生活習慣病予防の観点から考えます。

【講師】 札幌医科大学医学部長

常瀬規嗣教授

北海道新聞の生活面に毎週水曜日「生きるしくみ」を連載。専門は生理学・薬理学で、心拍動開始の起源を探索。各紙でコラムを執筆するほか、テレビやラジオでも活躍中。

募集します

台言葉は「若く老いよう！」 いしずえ大学入学生



今年の道内研修は函館へ。五稜郭公園でパチリ



夏には流しそうめん♪



運動会でハッスル！

教育委員会では満60歳以上の方が楽しく集い、学ぶ場として「いしずえ大学」を開校しています。「若く老いよう！」を言葉に現在115人が月2回、学習やクラブ活動を通して仲間づくり、生きがいづくりをエンジョイしています。

さまざまなジャンルの講座や講演、歌の練習をはじめ、書道や民舞、合唱、歌謡、パソコン、フォークダンス、ソフトミニバレー、パークゴルフ、フロアカーリングなど多彩なクラブ活動を基本学習としています。

そのほかにもボランティア活動や道内外への研修旅行、運動会などの学生間の交流活動、中富良野町の銀嶺大学との交流学習も行っており、町内外に仲間の輪を広げています。

●自治会長から



島瀬良一さん

いつも生徒の皆さんの笑顔に元気をもらい、学習を通じて、たくさんの方たちとの出会いが私の何よりの「宝物」となっています。

ぜひ、私たちの仲間になりませんか？「若く老いよう」が台言葉！いしずえ大学への入学をお待ちしています！！

●学習風景を見学しませんか？

体験学習を1月29日（金）、2月12日（金）の学習日に実施します。希望者は当日、社会教育総合センターへお越しください。

●平成28年度入学生募集

2月4日（木）～3月4日（金）に左記へお申込みください。

●年間活動費

65歳未満の方 4千350円
65歳以上の方 3千700円

問合せ 教育振興課社会教育班

☎5511



え、郷土を
さぐる会の
皆さんが編
集・発行し

かみふらは故三浦綾子さんの
名作「泥流地帯」「続・泥流地
帯」の舞台となっている土地。
文学とは深いつながりがあるう

「保護・保全」「地域振興」「教
育」が大きな3本柱とされてい
るジオパーク活動。その中で保
護・保全と教育においては、地
質や地形など地質学的価値があ
るものだけでなく、地域の歴史
や文化、動植物なども重要な要
素となります。

あけましておめでとござい
ます！ ジオ長谷川です。突然
ですが、お知らせです。図書館
「ふれんど」に「ジオ図書コー
ナー」が開設されました！！



開設
したよ

図書館「ふれんど」
ジオ図書コーナー

ジオ長谷川さん

ている「郷土をさぐ
る」は地域の歴史を
知る貴重な資料であ
り、当時の様子があ
うかがえる物語です。
これら歴史や文化
などに関するものに
加え、かみふらので

は地球科学や地質、火山防
災、先住民族などに関する書
籍についても、小説や解説書、
絵本などのジャンルを「超越」
し、「ジオ図書」として分類し
ました。皆さんが地域の歴史や
文化、自然の素晴らしさに触れ
る機会が増えればうれしい限り
です。ぜひ図書館「ふれんど」
へ足をお運びください！

また、ジオ図書としてそろえ
てほしい本があれば「こんな
はどうか」と、気軽に図書館ス
タッフにお声掛けください。
書籍について

図書館「ふれんど」

ジオパークについて

総務課企画財政班
☎6980

活用
しよう

ひとり親の
福祉資金貸付制度



お子さんの就学や経済的な自
立のために資金が必要なとき
は、母子・父子・寡婦福祉資金
の貸付制度があります。
就学資金、技能習得資金、生
活資金、転宅資金など12種類あ
り、無利子で貸し付けを
受けることができます。

貸付金の種類や限度額、貸
付・返済期間などの詳細は、気
軽にお問合せください。
対象 20歳未満の児童を扶養し
ているひとり親とその児童
問合せ
保健福祉課子育て支援班
☎6987

食べ
ちゃお

富良野・美瑛
カレー街道キャンペーン

1月22日は「カレーの日」。
美瑛町から占冠村までのご当
地カレーを提供するお店では、
この日を挟む4日間、何と500円
（税込）の出血大サービス！
さらに、町内の提供施設では
カレーを食べた方の入浴料を300
円に引き下げます！！

実施期間
1月21日（木）～24日（日）
町内の実施店舗
十勝岳温泉 凌雲閣
十勝岳温泉 カミホ口荘
フロンティアフラヌイ温泉
「カレーの日って？」
昭和57年に全国学校栄養士
協議会で1月22日の給食のメ
ニューをカレーにすることに
決め、この日に全国の中小学
校で一斉にカレーが出された
ことから定められました。



カレールーにちなんで各店舗
1日22食限定のため、売り切れ
必至。地元産の野菜とかみふら
のポーク（豊味豚 ほつみこん）
をぜひたくに使い、各店がそれ
ぞれ趣向を凝らした「かみふら
の豊味豚カレー」をぜひ、この
機会にご賞味ください。

問合せ
かみふらの十勝岳観光協会
☎3150

【広告】

広告を掲載しませんか

広報かみふらのでは、掲載いただける有料広告を
募集しています。

サイズ・掲載料(1回につき)

4.5cm× 8.5cm 5,000円

4.5cm× 17.5cm 10,000円

発行日 毎月10日・25日(休日の場合は直前の平日)

申込み・問合せ 町民生活課自治推進班 ☎6985

【広告】

広告を掲載しませんか

広報かみふらのでは、掲載いただける有料広告を
募集しています。

サイズ・掲載料(1回につき)

4.5cm× 8.5cm 5,000円

4.5cm× 17.5cm 10,000円

発行日 毎月10日・25日(休日の場合は直前の平日)

申込み・問合せ 町民生活課自治推進班 ☎6985

12/3 つきだては最高！ かば愛育園もちつき会

わかば愛育園で、きねと臼を使った恒例のもちつき会が行われました。



自分たちについて、丸めて♪

まず、助っ人として駆け付けたおじいちゃんたちが手本を見せると、園児たちも「よいしょ！ よいしょ！」とつく動作を見よう見まねでお勉強。2臼目は、年中と年長さんが手を借りながらきねを持ってべったん、ぺったん。「ああ、楽しかったあ〜♪」との声が上がっていました。昼食には雑煮のほかあんこもちも出され「5回おかわりしたよ！」「ぼくは8回!!」と、みんな食欲旺盛。おいしそうにつきたてのおもちをほお張っていました。

12/4 世界に一つだけの作品 に大満足!! 木彫教室

マイプラン・マイスタディ講座「木彫教室」が泉栄防災センターで行われました。以前は栄町住民会で行っていた教室を、

広く町内に参加を募ろうと同講座として実施しているもので、開催は通算して12回目にも上ります。この日は最終日ということので二つを塗る最後の仕上げ作業を行い、参加した男性は「世界に1個しかないから、それがいいんだよ」と、なかなかの出来栄に満足。第1回から講師を務める同町内の鈴木努さんは「家庭で使えるもの」と考えてやってきた。また来年もやりたいですね」と話していました。



今年はキッチンペーパーホルダー製作

12/6 6年ぶりに大会記録を 更新 町民玉入れ大会

町民玉入れ大会が社会教育総合センターで行われ、小学生の部7、女性の部5、中学生の部4、一般の部2の計



玉がきれいに固まりのまま投げられるチェリーブラッサムのプレー

表彰式では全員が最前列に整列し、祝福の拍手が贈られました。各部の優勝チームは次のとおり。
【小学生の部】かみふらのジャカース、【女性の部】チェリーブラッサム、【中学生の部】ザキさんTV、【一般の部】上富良野高校野球部

18チームが参加しました。全部の玉を入れ終わるまでの大会記録は平成21年に「チェリーブラッサム」が出した44秒でしたが、今回は同チームが自ら持つタイムを3秒縮める41秒の好タイムで大会記録を更新。

12/18 読みきかせ会ムーミン 子育て応援大賞受賞



表彰状を手に笑顔の羽賀代表(左から2人目)

町内の「読みきかせ会ムーミン(羽賀美代子代表)」が「ほっかいどう子育て応援大賞」を受賞し、役場町長室において上川総合振興局の紺谷ゆみ子局長から表彰状が手渡されました。

同賞は、地域の子育て支援活動に意欲的に取り組む団体や個人などを表彰するもので、町内の保育所や幼稚園、学校をはじめ、さまざまな場所に向いて行っている絵本や紙芝居などの読み聞かせ活動が高く評価されました。副賞として絵本10冊も贈られ、羽賀代表は「会員12人の小さな会ですが、今後も本と子どもの架け橋となり、本を読む楽しさを一人でも多くの子に伝えていきたい」と話していました。



楽しく学ぼう
いつまでも!

生涯学習情報

問合せ・申込み
教育振興課社会教育班 ☎5511

かみふらの10大ニュース

郷土館では、平成27年(1~12月)に起きた上富良野に関する10大ニュースを決定します。主なニュースは投票場所に掲示していますので、その中から選んで投票してください。

投票期間 1月8日(金)~20日(水)

投票場所 役場、公民館、社会教育総合センター、保健福祉総合センター
かみん、町立病院、コミュニケーションラザ「中茶屋」、JR上富良野駅
問合せ 公民館 ☎3158

上富良野町成人式

新成人の皆さんには案内はがきを送付しています。当日持参ください。

なお、出席を予定している方で、案内はがきが届いていない方は教育振興課へお問合せください。

日時 1月10日(日)

受け付け 12時30分

式典開始 13時30分

対象 平成7年4月2日~平成8年4月1日生まれの方

場所 保健福祉総合センターかみん



道民カレッジ連携講座

いしづえ大学との連携講座「はいつて安心『医療保険・年金制度』」を開きます。どなたでも無料で受講できます。

す。直接会場にお越しください。
日時 1月29日(金) 10時30分
場所 社会教育総合センター

かみふらの雪台戦大会

日時 2月7日(日) 受け付け 8時

30分、開会式 9時

場所 社会教育総合センター横広場

種目 小学生の部(チーム数によっては低学年と高学年に分けます)、一般の部(中学生以上、混成の部(女性)が常時2人以上プレー)

チーム編成 1チーム7~10人(監督含む)。富良野沿線(上富良野町、中富良野町、富良野市、南富良野町、占冠村)に住所を有する方で編成し、監督は成人者となります

参加料 1チーム1千円(保険代含む)

申込期限 1月26日(火)



前回大会の熱戦の様子

公民館講座「初級英会話教室」

本場の英語に触れてみませんか。

日時 2月18日~3月10日(毎週木曜日・全4回) 19~20時30分

場所 社会教育総合センター
講師



英語指導助手
ブライアン・ライト

対象 中学生以上
定員 先着20人
参加料 無料
申込期限 2月10日(水)

平成26年度放課後スクール・放課後クラブ登録児童募集

教育委員会では、安心・安全な子どもの活動拠点「放課後スクール」と、放課後や休校日に保護者が仕事などで留守となる児童の預かり事業「放課後クラブ」を行っています。

放課後スクール

場所 上富良野小学校、上富良野西小学校
学校

実施日 月・金曜日の放課後~16時

休業日 学校休校日、土・日曜日、祝日

対象児童 小学1~6年生

登録費 1千200円(1年間)

※利用状況による返還なし

帰宅方法 終了後、各自で帰宅します

放課後クラブ

場所 上富良野小学校

実施日 月・金曜日(祝日を除く)の放課後~18時、土曜日・学校休校日の8~18時(有料で7時から早朝、18時30分までの延長あり)

休業日 日曜日、祝日、12月31日~1月5日

対象児童 小学1~6年生

対象条件 ●保護者の就労などにより、放課後に留守家庭となる世帯であること(就労証明などの書類提出)

●町税などに滞納がないこと

利用料 1千円(1ヵ月)

※利用状況による返還なし

帰宅方法 必ず保護者に迎えに来ていただきます

保護者説明会

放課後クラブ、放課後スクールの利用を希望する保護者は、説明会に参加してください

日時 2月1日(月) 19時

2月3日(水) 19時

場所 社会教育総合センター

内容 事業内容と手続き方法の説明(1時間程度)

申込方法

保護者説明会の翌日から2月29日(月)までに、申込書を提出してください。なお、前年度に登録した方も、必ず新たに申込書を提出願います



がん検診

保健

申込み・問合せ
保健福祉課
健康推進班
☎6987

種 類	日 程	対 象	料 金	会 場
子宮がん・乳がん 同時検診(女性)	2月4日(木) 7:10出発 かみん前からバス送迎	子宮がん 20歳以上 乳がん 40歳以上	69歳以下 3,700円 70歳以上 1,850円	旭川がん検 診センター
胃がん検診	2月18日(木) 6:30~7:00	30歳以上	69歳以下 1,500円 70歳以上 750円	保健福祉総 合センター
大腸がん検診	7:30~8:00 8:30~9:00	40歳以上	69歳以下 1,000円 70歳以上 500円	かみん

※定員に達し次第締め切ります。70歳以上は昭和21年4月1日以前生まれの方。子宮がん・乳がん検診は2年に1度の受診のため、昨年度受診した方は全額自己負担(クーポン対象者除く)

● 困ったときの相談窓口 ● ～相談はいずれも無料です。気軽にご相談ください～

	内 容	開設日時	場所・問合せ先など
行政相談	国の仕事やサービス、各種制度の手続き、困り事や苦情、意見、要望	1月はお休み	保健福祉総合センターかみん 行政相談委員 田中博(南町2丁目1番13号) ☎2882 毎月第1火曜日 問合せ:総務課総務班 ☎6400
消費者相談	契約や取引でのトラブル、商品やサービスに関する相談・苦情など	10:00～16:00 土・日曜日、 祝日を除く	富良野市若松町17番1号(富良野市役所となり) 富良野市消費生活センター ☎1166 相談員:専門相談員
住民相談 (日常相談)	相続や金銭問題、離婚、家屋の賃貸借や労働問題など幅広く対応します	9:30～16:30 土・日曜日、 祝日を除く	富良野市弥生町1番1号 富良野市総務部市民相談室 ☎2301(内線1901) 相談員:専門相談員
法律相談	相続や金銭問題、離婚、家屋の賃貸借や労働問題など幅広く対応します	1月10日(日) 11:00～15:00	富良野市弥生町1番1号 富良野市総務部市民相談室 ☎2301(内線1901) 相談員:弁護士 原則、毎月第2日曜日 要事前予約
こころの 健康相談	不安や気分の落ち込みがひどい、よく眠れないなど精神的な悩み	1月 6日(水) 20日(水) 14:00～15:00	富良野市末広町2番10号 富良野保健所 ☎3161 相談員:専門医 要事前予約 原則、毎月第1・第3水曜日 保健師による相談は随時
思春期相談	思春期の心や健康、性に関する相談に対応します	1月 6日(水) 20日(水) 14:00～15:00	富良野市末広町2番10号 富良野保健所 ☎3161 相談員:専門医 要事前予約 原則、毎月第1・第3水曜日 保健師による相談は随時
女性の 健康相談	妊娠や出産、子育て、不妊、更年期の悩みなど女性の健康についての悩み	1月13日(水) 10:00～16:00	富良野市末広町2番10号 富良野保健所 ☎3161 相談員:保健師 要事前予約 原則、毎月第2水曜日 平日9～17時には電話相談あり
はーとまね センター	多重債務などが理由で心の問題を抱える方を対象に生活相談、健康相談	1月14日(木) 13:30～15:30	富良野市末広町2番10号 富良野保健所 ☎3161 相談員:司法書士、保健師 要事前予約 原則、毎月第2木曜日

「110番の日」の広報イベントを行います
北海道警察のマスコット「ほくとくん」、皆さんおなじみの上富良野町「当地キャラクタ―「らべとん」をはじめ、富良野圏域のマスコットキャラクターが勢ぞろい!
かっこいい
パトカーも展示しますので
ぜひ、お越しください!!
日時 1月8日(金) 10～11時
場所 富良野市新富町2番5号
エコープフォーレスト店駐
車場



1月10日は「110番の日」
110番は緊急時に警察と皆さんを結ぶ治安の架け橋です。
急を要しない各種相談やご要望、ご意見には電話「#9110」で担当職員が対応しますので、こちらをご利用ください。
ご協力をお願いします。



町内の事件・事故発生状況(11月)

() は前年比較
■事件
刑法犯認知件数: 5(+2)
(内訳) 出店荒らし1 自転車盗1
車上ねらい1 非侵入窃盗その他2
■事故
人身事故発生件: 1(+1)
死者数: 0(±0)
死傷者数: 2(+2)
物損件数: 26(-8)
毎月15日は『道民交通安全の日』
毎月20日は『地域安全の日』

- ①余裕を持った運転を
冬道の走行は積雪による渋滞などで時間がかかります。
- ②車間距離は夏場の2倍以上
冬道ではスリップによる追突事故が多くなります。
- ③「急」のつく運転操作をしない
急な操作はスリップのもと。
- ④交差点に注意
雪山の陰から歩行者が飛び出してくるかもしれません。
- ⑤悪天候に注意
吹雪や大雪のときの運転は立ち往生の危険があります。やむを得ず運転する際には、防寒具やスコップの用意を忘れずに。

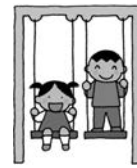
交通事故を防ぐ
運転のポイント

地域に密着した情報を配信中! 富良野警察署ホームページ <http://www.furano-syo.police.pref.hokkaido.lg.jp/>

子育て

子どもセンター 土曜日開放

子どもセンターでは、通常お休みしている土曜日を臨時開放します。大型遊具やおもちゃなどで遊べるほか、絵本の読み聞かせも行います。



利用されている方も初めての方ぜひ、家族そろって遊びに来てください。
日時 1月30日(土) 9～12時
問合せ 子どもセンター
☎6501

講演会・研修会

北方領土を知るつどい

日本固有の領土である北方領土について考えます。
日時 1月26日(火)
13時30分～15時

場所

保健福祉総合センターかみん

内容

①講演「終戦前の島と自由訪問で見た島の現況」(講師 北方領土復帰期成同盟上川地方支部協力員会議副会長 高塚正勝氏)

②啓発DVD「交流は明日の架け橋」上映

参加料 無料

申込期限 1月22日(金)

申込み・問合せ 総務課総務班

☎6400

季節労働者向け資格取得 支援講習

【パソコン講習】 定員5人

●フード・エクセル中級コース
日時 2月8・10・12・15・17・19・22・24日

申込期限 2月2日(火)

【介護事務講座】 定員5人

日時 2月15・22・29日
申込期限 2月8日(月)

【建設機械等技能講習】

●フォークリフト運転技能講習

日時 2月15・16・17・18日
申込期限 2月4日(木)

●不整地運搬車運転技能講習

日時 3月1・2日
申込期限 2月18日(木)

●車両系建設機械(整地等)運転技能講習

日時 3月8・9日
申込期限 2月25日(木)

●車両系建設機械(解体用)運転技能講習

日時 3月10・11日
定員10人

申込期限 2月29日(月)

※パソコン講習と建設機械等技能講習は富良野地域人材開発センター、介護事務講座は富良野文化会館で行います

申込み・問合せ 富良野広域圏通年雇用促進協議会(富良野市役所商工観光室内)

☎2312

手続き

運転免許更新時講習

場所

富良野地域人材開発センター

【優良講習 30分】

1月6日(水)・15日(金) 13時

【一般講習 1時間】

1月6日(水)・15日(金) 14時

【違反講習 2時間】

1月25日(月) 13時

【初回講習 2時間】

1月12日(火) 13時

◆場所 中富良野町農村環境改善センター

【優良講習 30分】

1月20日(水) 18時

※受講前に警察署での免許更新手続きが必要です

問合せ 富良野地方交通安全協会

☎20110

11月の十勝岳

『活動状況および予報警報事項』

噴火警戒レベル1、活火山であることに留意

火山活動はおおむね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

ここ数年、山体浅部の膨張、大正火口の噴煙量増加、地震増加、火山性微動の発生、発光現象、地熱域の拡大などを確認しており、長期的にみると十勝岳の火山活動は高まる傾向にあります。今後の火山活動の推移に注意してください。

噴火予報噴火警戒レベル1、活火山であることに留意の予報事項に変更はありません。

『噴煙などの表面現象の状況』

62・2火口と大正火口の噴煙の高さは火口縁上200m以下で経過しました。大正火口の噴煙量は2010年ごろからやや多い状態が続いています。

『地震、微動の発生状況』

長期的にみると、62・2火口付近の浅い所(海拔0km以下)を震源とする火山性地震は、2010年ごろからやや多い状態となっています。

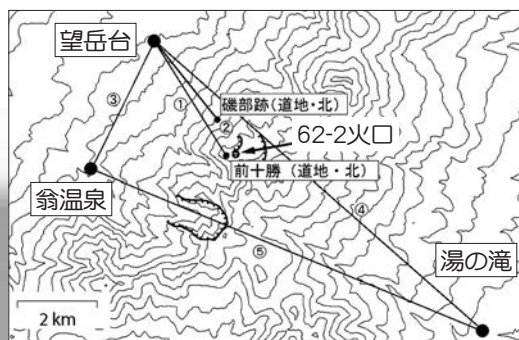
一方、グラウンド火口周辺や旧噴火口付近の浅い所(海拔0～3km程度)を震源とする周辺の地震活動は引き続き低調でした。火山性微動は観測されませんでした。

『地殻変動の状況』

GNSS連続観測(※)では2006年以降、62・2火口直下浅部の膨張を示すと考えられる変動が引き続き認められています。火口に近い前十勝観測点では、周辺の局所的な変動と考えられる変化が5月ごろからみられていましたが、7月以降停滞しています。

より深い山体内の膨張を示す可能性がある望岳台・翁温泉(富良野市思惟林、旧バーデンかみふらの寒湯の滝(新得町トムラウシ温泉近く)を結ぶ基線に特段の変化はありませんでした。

※GNSSはGPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称



十勝岳 GNSS連続観測の観測点配置図

問合せ

旭川地方気象台 ☎0166・32・7102

1 月のまちの行事予定



日 曜	行 事
1 金 元旦	
2 土	
3 日	
4 月	
5 火	町民新年交礼会 11:00 JAふらの上富良野支所
6 水	
7 木	消防出初式 13:30 役場前駐車場 町立病院夜間診療 17:30～19:00(受付)
8 金	1歳の誕生会(1月生まれ) 子どもセンター 9:30～10:00(受付) 10:00～11:00
9 土	東児童館「おしるこ会」 13:30
10 日	成人式 13:30 かみん
11 月 成人の日	
12 火	予防接種(四種混合・ポリオ・水痘・ヒブ・小児用肺炎球菌・おたふく) 9:00～10:00(受付) 13:00～14:00(接種) 母子手帳交付・妊婦相談 11:00～11:45 かみん
13 水	町立病院内科外来 午後休診
14 木	
15 金	子宮がん・乳がん検診 9:00～11:30 13:30～15:00 かみん(16日まで)
16 土	西児童館「かるた・輪投げ大会」 13:30
17 日	
18 月	定期健康相談 9:00～11:30 かみん 図書館「ふれんど」臨時開館 9:30
19 火	予防接種(BOG・麻しん風しん・水痘・ヒブ・小児用肺炎球菌・おたふく) 9:00～10:00(受付) 13:00～14:00(接種) 母子手帳交付・妊婦相談 11:00～11:45 かみん 心配ごと相談 13:00～16:00 かみん 農業委員会総会(傍聴可) 13:30 役場

2月1日(月)までに納めましょう

- 国民健康保険税(第7期)
- 後期高齢者医療保険料(第7期)
- 介護保険料(第7期)



発行日 平成27年12月25日
発行 上富良野町
編集 町民生活課自治推進班
印刷 (株)須田製版

ご意見・ご感想をお寄せください。

☎071-0596

北海道空知郡上富良野町

大町2丁目2番11号

☎0167-6985 FAX0167-5362

メール: jichi@town.kamifurano.lg.jp

○広報かみふらの、次号の発行は1月25日です

○12月31日現在の「人のうごき」は2月10日号に掲載します

○年末年始の公共施設などの状況は、12月10日号をご覧ください

「まちの行事予定」やお知らせコーナーに掲載している行事予定は、日時などが変更になる場合があります。

(傍)…傍聴可

(公)…会議録を町政情報提供コーナーで公開

日 曜	行 事
20 水	マタニティ教室「いきいきパパ・ママ」 13:30～15:30 子どもセンター
21 木	育児教室(3か月児対象)「にこにこ・赤ちゃん」 13:30～15:30 子どもセンター 町立病院夜間診療 17:30～19:00(受付)
22 金	住民会長との町政懇談会(傍公) 15:00～17:00 消防署
23 土	東児童館「雪中ゲーム大会」 13:30 マイプラン・マイスタディ講座「おはなしたんけん隊」 13:30～15:30 公民館
24 日	第27回住民会対抗ソフトミニバレーボール大会 8:30 社教センター
25 月	広報かみふらの1月25日号発行 定期健康相談 9:00～11:30 かみん
26 火	予防接種(四種混合・ポリオ・水痘・ヒブ・小児用肺炎球菌・おたふく) 9:00～10:00(受付) 13:00～14:00(接種) 母子手帳交付・妊婦相談 11:00～11:45 かみん 北方領土を知るつどい 13:30 かみん
27 水	7か月・10か月児乳児相談(個別案内) 1歳6か月児健康診査(個別案内) 町立病院内科外来 午後休診
28 木	
29 金	すくすく離乳食・育児教室 10:00～12:00 かみん 図書館「ふれんど」読み聞かせ会 10:30 道民カレッジ連携講座「はいって安心『医療保険・年金制度』」 10:30 社教センター
30 土	子どもセンター土曜日開放 9:00～12:00 子どもセンター マイプラン・マイスタディ講座「おはなしたんけん隊」 13:30～15:30 かみん
31 日	



12/14 富良野岳の上に流れ星☆ ふたご座流星群

